

月刊

軽音楽部

発行：特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会

全国2,040校に配付中！

部活動としての軽音楽を考える

令和5年度

第7回 高等学校軽音楽コンテスト近畿北陸大会

令和6年3月28日(木) 宇治市文化センター 主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会／公益財団法人かけはし芸術文化振興財団
後援：文化庁・宇治市・京都府教育委員会・兵庫県教育委員会・奈良県教育委員会・和歌山県教育委員会・滋賀県教育委員会・福井県教育委員会・宇治市教育委員会



写真は第7回 高等学校軽音楽コンテスト近畿北陸大会でグランプリを受賞した大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校の大阪オトメです

2024

6

VOL.75

「教師力」で音楽を「深掘り」させる
「教科学習」では得られない経験と成長
「百奏錬磨」で真摯に取り組む軽音楽部
「他者の批評ができる力」を持つことが成長のカギ

部活動の大会としての審査基準／アンサンブルが良くなる指導方法
軽音楽部を通じた人材育成の取り組み／軽音協イベント・カレンダー

目標に向かって、チャレンジしよう！

第8回
高等学校軽音楽コンテスト
近畿北陸大会

2024 7.31 WED 入場無料 10:00-17:00
会場：舞鶴市総合文化会館大ホール
京都府舞鶴市字湊2021

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会／公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団
後援（協賛）：文化庁・京都府教育委員会・兵庫県教育委員会・奈良県教育委員会・和歌山県教育委員会・滋賀県教育委員会・福井県教育委員会・宇治市教育委員会

第10回
高等学校軽音楽コンテスト
中部大会

2024 8.3 SAT 入場無料 12:00-18:30
会場：愛三文化会館
もちのきホール
愛知県大府市明成町1-330

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会／公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団
後援（協賛）：文化庁・愛知県高等学校文化連盟・愛知県教育委員会・岐阜県教育委員会・静岡県教育委員会・三重県教育委員会・北陸県教育委員会

第5回
高等学校軽音楽コンテスト
関東大会

2024 8.25 SUN 入場無料 10:00-18:30
会場：国立オリンピック記念青少年
総合センター 大ホール
東京都渋谷区代々木神園町3-1

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会／公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団
後援（協賛）：文化庁・日本工科大学附設学校・日本工科大学いしづき専門学校
専門学校東京ビジネスアカデミー
エフエム・プランズ・ジャパン株式会社

第2回 全国高等学校軽音楽部
オリジナルソング・グランプリ

応募締切
8/31(土)



特定非営利活動法人（NPO法人）
全国学校軽音楽部協会

それぞれの大会の実施要項は
ホームページをご覧ください

全国の中高大学の 軽音楽部を支援する協会

現在、全国の高等学校では軽音楽系の部活動が活発に行われ、多くの生徒が軽音楽を通して様々なことを学んでいます。それは、軽音楽部が学校教育の一環として、「自主性」や「責任感」の伴う活動が学習意欲の向上につながり、「コミュニケーション（意思伝達）」「クリエイティビティ（創造力）」「チームワーク（協働）」「エンターテインメント（顧客満足）」といった社会で必要とされるスキルを育てることができる部活動であると認知されてきたからだと思います。私たちは、情報誌の発行、大会や合同演奏会の開催、生徒や顧問への各種クリニックや講習会の開催、軽音楽連盟発足の支援などを行ってきました。今後も不特定、かつ多数の公益に寄与しながら、軽音楽を通して青少年の健全な育成を目指していきます。

Mission ～理念～

軽音楽部の諸活動を通して若い人材を育てる

Vision ～目標～

1 軽音楽部の学校内外における認知向上を図る
部活動としての歴史が浅い軽音楽部は、偏見もあり一般的に正しい認知が低いのが現状です。軽音楽を通じた部活動の有意義さを学校内外へ広めていきます

2 社会や地域貢献を視野に入れた部活動の提案
軽音楽部の活動範囲は、日々の練習や演奏会出演、大会への参加だけにとどまらず、地域や行政とのつながりを生みます。軽音楽部の活動を通じた社会貢献を応援します

3 生徒による自主、自律した部活動運営の支援
グローバルな視点からの上位下達ではなく自主的に動ける人間、これからの日本社会が必要とする自律した人間育成を目的とした部活動運営の支援をします

ご支援いただいている特別賛助会員の皆様（敬称略／順不同）

株式会社ミュージックネットワーク	名古屋スクールオブミュージック＆ダンス専門学校
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団	ギブソン・ブランズ・ジャパン株式会社
一般社団法人サトヤマカイギ	フェンダーミュージック株式会社
大阪音楽大学	有限会社エムエージー
名古屋芸術大学	株式会社トップトラベルサービス
宝塚大学	株式会社福々家（モアリゾート、ホテル寺尾温泉）
日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校	株式会社サウンドハウス
専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー	音楽ロッヂ ゆうげん荘
専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社オーティーズ
専門学校大阪ビジュアルアーツ・アカデミー	

特定非営利活動法人
全国学校軽音楽部協会
keionkyo.org



月刊 軽音楽部 部活動としての軽音楽を考える

令和6年6月号 VOL.75

■月刊 軽音楽部 VOL.75 ■創刊：平成25年12月18日（水）■新創刊：令和6年3月25日（月）■発行：令和6年5月25日（土）／第13巻6号通巻75号
■監修・発行／特定非営利活動法人（NPO法人）全国学校軽音楽部協会 JASLMC（Japan Association of School Light Music Club）
〒224-0003 横浜市中区中川中央1-37-6-405 TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900 E-Mail：info@keionkyo.org
■企画・編集／株式会社ミュージックネットワーク

interview



学校教育の視座

「教師力」で音楽を「深掘り」させる.....4

群馬県高等学校文化連盟軽音楽専門部 初代会長 針谷一人
群馬県立富岡高等学校軽音楽部 顧問



部活動を考える

「教科学習」では得られない経験と成長.....6

日本部活動学会理事 兼事務局次長 長野いつき
音楽家



優勝校顧問に聞く

「百奏錬磨」で真摯に取り組む軽音楽部.....8

大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校 軽音楽部 顧問 坂口和也

contents

「他者の批評ができる力」を持つことが成長のカギ.....10
部活動の大会としての審査基準③.....13
アンサンブルが良くなる指導方法③.....14
軽音楽部を通じた人材育成の取り組み②.....15
軽音協イベント・カレンダー.....16

音楽／エンタメ業界の仕事 2024

ライブ PA
日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校.....20
照明
専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー.....22

From Chief-In-Editor

信用と信頼

1ヶ月のご無沙汰です。前号にも書きましたが、当協会主催の大会では、開催地の市長をはじめ、文部科学省や文化庁などからも来場していただけるようになりました。当協会のミッションに、軽音楽部の学校内外における認知向上を図るというものがあり、少しは貢献できているかなと思います。ただ、最終ゴールは現在約4割に過ぎない軽音楽部の普及率を高め、すべての高等学校に軽音楽部が設置されることを考えていますので、まだまだ道半ばであります。軽音楽部の印象が向上してきている今だからこそ、勝って兜の緒を締めるではありませんが、足元を固めていく必要があるのではないかと思います。信用を得るには長い時間がかかりますが、失うのは一瞬です。学校教育の一環としての軽音楽部の在り方を考え、これまで積み上げてきた信用を確固たるものにし、今後の活動への信頼を維持していきたいと思います。

そのためには…①バンド活動ではなく、部活動という名前が表すように、個人やバンド単位ではなく、部として活動することが基本であることと学校における教育活動の一環であることの認識、②電気楽器を使うことによる耳（鼓膜）への負担を考

えた活動や近隣の音量問題など、本来、安全を担保した学校内の活動であることの認識、③楽器の演奏技術の向上と共に、広く浅くで良いので、教養としての音楽文化や電気楽器／音響機器の知識を深めること、④単なる高校時代の部活動の経験に終わらず、生涯を通して音楽や楽器演奏を趣味にできるような下地作り…などを視野に入れた活動をすることが望ましいと思います。もちろん一朝一夕に実現できることはありませんが、大会では勝利至上主義に走らず、軽音楽の部活動らしく、コミュニケーションとチームワークを駆使して、クリエイティビティとエンターテインメントを発揮する活動を目指して欲しいと思います。



三谷佳之

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 理事長

Email mitani@keionkyo.org
Facebook yoshiyuki.mitani
Instagram mitani.yoshiyuki
X (Twitter) @mitaniyoshiyuki

学校教育の視座

「教師力」で音楽を「深掘り」させる

針谷 一人

群馬県高等学校文化連盟軽音楽専門部 初代会長
群馬県立富岡高等学校軽音楽部 顧問

針谷一人

群馬県高等学校文化連盟軽音楽専門部初代会長。大学では軽音楽サークルに所属。県立高校で5年間の軽音楽部顧問を経験。群馬県立万場高等学校長を経て、令和5年3月に定年退職。現在は再任用教師として群馬県立富岡高等学校の教壇に立つと同時に軽音楽部顧問として奮闘中。

今回は群馬県高等学校文化連盟軽音楽専門部初代会長で、群馬県立富岡高等学校軽音楽部顧問の針谷（はりがい）一人先生に、部活動が学校教育の中で果たす意義や顧問の役割、部活動での経験が将来どのように役立つかを伺いました。

■部活動の顧問の経験を教えてください

針谷…学生時代にバレーボールをしていた関係で、バレーボール部の顧問になったのが最初です。その後、女子バスケットボール部の顧問になりました。そこでは専属のコーチが優秀な方で、全国大会に何度か出場しました。軽音楽部の顧問となったのは、その後、転動した伊勢崎高校での5年間です。この時も実は男子バレー部の副顧問を掛け持ちしていて、ここでも全国大会を経験しています。部の指導というよりも、生徒とコーチ、顧問との間をつないだり、保護者に生徒の様子を伝えたりなど、裏方の仕事をしていることが多かったように思います。

■軽音楽部は生徒主体の活動がしやすい部活動ではないかと思えます。本来、部活動は生徒主導であるべきか、教員はどこまで指導すべきか…

■高校生活の中での部活動のあり方や果たす役割は…
針谷…高校生活は「学習」と「部活動」、そして、「学校行事」の3つが基本です。その中で「部活動」は高校生活を豊かにするために欠かせません。これまでの教員生活の中で、ある目標に向かって努力することは大変意味があることだと感じます。特に全国大会を目指し、日々努力していた生徒たちが、日ごとにたくましく成長していく様子を間近に目にして、その思いを強くしました。様々なプレッシャーに押しつぶされそうになりながらも必死にそれを振り払おうと努力し続ける彼らはいつも輝いていましたし、そういう彼らがその後の人生を力強く生きているのを目にして、部活動の価値を再認識しました。

針谷…技術的な指導ができる方であれば、

ある程度は教員が主導していつでも良いと思います。また、生徒主導といつてもすべてを生徒主導というのは無理があると思います。体制が整っていない状態では無理だということです。教員は部活動が円滑に進むように、その体制づくりをすることが求められます。ただし、生徒と会話しながら、生徒の自主性を育てることを念頭に置いての指導を心掛けて欲しいですね。それが生徒主導の活動につながりますから。

■軽音楽部の顧問はどのぐらいの専門性を持つているべき、または持っているの良いとお考えですか

針谷…顧問になる上で、専門性があるに越したことはありませんが、ないとダメということではないと思います。必要なのは「運営」に関する能力ですね。生徒を指導する、リードすることによって心を開くことができるか…。言葉を変えれば「教師力」ということになると思います。例えば、普段の授業で、生徒にただ知識

という情報を与えているだけでは授業になりません。目的に向かって、どのように生徒に努力させるのかという仕掛けを作ることが「教師力」であり、本来、教員なら誰にでも備わっている能力であるはずで「教師力」を使うことで、専門的な知識や技術的な指導は必須ではなくなると思います。特に今は「緒に調べよう」ということも簡単にできる時代ですからね。

■大会至上主義や勝利至上主義に対する懸念が叫ばれています

針谷…私はちゃんと大会があつて、順位を決めた方が良いと思っています。運動部であれ、軽音楽部であれ、部活動としては競技の違いでしかないと考えています。目標に向かって努力するという点で両者に違いはありません。本年度から富岡高校に来て、軽音楽部の顧問になったわけですが、一番最初に「部活動である限りは軽音楽部でも運動部と同じだよ、全国大会優勝を目指そう」と話しました。そして、「どう努力すべきなのか、どうす

ればその目標に一步でも近づくことができるのか、そこを考えて欲しい」「努力していく中で経験する厳しさや悔しさ、その後にくる感動を君たちに感じてもらいたい」と話しました。そのためにも目標となる大会が存在することは大変意味があります。切磋琢磨できる場の提供です。

■音楽では審査基準がはっきりしないために順位に不満が出たりしますが…

針谷…群馬県からは全国学校軽音楽部協会（軽音協）が主催する関東大会や全国軽音楽連盟が主催する全国大会に三度ほど出場させていただきました。これまで何度かそういった大会の演奏を自分で採点しながら聴いていますが、回を重ねるごとに自分が採点した結果と審査結果に違いがなくなってきました。特にグラプリについては、明確に審査基準を知るときつかけになりました。技術だけではなく周りの雰囲気や個性や曲の独創性だったり、高校生らしいエネルギー、ギンシュな演奏など。どういうところを審査されるのか、グランプリや入賞を目指すなら審査される側も勉強する必要があります。軽音協もよくおっしゃっていますが、高校生らしさ、元気の良さ、そして、個性。そういったところが審査の一番大きな基準だと思っています。それが数値化できないところが悔しいですけど。順位に不満があるのであれば、優勝したバンドを年代ごとに並べて全部見ろってことです（笑）。どういうバンドが優勝しているのかがよくわかります。

●学校内で部活動の果たす役割がある一方、部活動の地域移行と言われています
針谷…現実的には非常に難しい問題だと思います。土日だけならいざ知らず、平日の放課後もとなれば関われる人はとても限られます。また、高校ともなれば競技レベルも上がり、求められる指導レベルもより高いものとなるはずで、そのような要求に応えられる人材が果たしてどれだけのいるのか。地方に位置する学校ではそういった人材の確保が一番の問題になるのではないのでしょうか。

●新年度は顧問の異動が多い季節です。顧問が替わっても活発な活動をするには…

針谷…ずばり、日頃から大会やイベントに参加しておくことですね。大会やイベントに参加して、実績を作っていけば、それが代々後輩に伝わっていきます。この時期にはこの大会に出ました。こういうイベントに参加しました…という実績をちゃんと残していけば顧問が替わったとしても「大会、イベントに向かって活動する」前提ができます。群馬県において高文連軽音楽専門部を設立する際の目標の一つが大会の開催、公式大会の開催でした。大会を開催できたことで、これまでできなかった各校の顧問同士の横のつながりを構築することができました。こういった組織の存在も顧問が替わっても活動を停滞させないことにつながるのだと思います。

●軽音楽部は社会に出た時に役立つスキルが身に付く部活動だと思います
針谷…高校生活は「学習」と「部活動」

がその両輪です。軽音楽部の生徒の一部は一方に振れている子もいますが（笑）。生徒の演奏へのコメントに「伝わってこないなあ」と言うことが多いです。すごく曖昧でつかみどころのないこの問いに生徒は戸惑い、一人では解決できそうにないと感じ、必然的にバンド内での話し合いに発展していきます。彼らは高校生というみずみずしい感性の持ち主で、こちらが意図しないようなアプローチの仕方でも様々な意見を出し合い、答えを探していきます。いわゆる音楽の「深掘り」です。話し合いでは当然意見の食い違いも出てきます。感性と感性のぶつかり合いは厳しい状況を生み出すこともあります。しかし、その結果、これまで自分が感じることのなかった音に出会い、自分の世界が広がっていくことを実感します。こんな経験ができる部活動は他にはないですよ。今の時代、個性と個性をぶつける場面はあまりにも少なくなっていて、このような経験ができる軽音楽部の活動は社会でも必ず役に立つと思います。そのためにも顧問の先生方には生徒に音楽を「深掘り」させる仕掛けを工夫して欲しいです。

■軽音楽部の生徒たちにメッセージを

針谷…楽しく、元気よく、愉快に…ですね。音楽を楽しむためには相応の演奏技術や音楽への理解が必要になります。自分はもちろん、聴いてくれる人をも楽しませるために、ぜひ、音楽を「深掘り」してください。



針谷…群馬県からは全国学校軽音楽部協会（軽音協）が主催する関東大会や全国軽音楽連盟が主催する全国大会に三度ほど出場させていただきました。これまで何度かそういった大会の演奏を自分で採点しながら聴いていますが、回を重ねるごとに自分が採点した結果と審査結果に違いがなくなってきました。特にグラプリについては、明確に審査基準を知るときつかけになりました。技術だけではなく周りの雰囲気や個性や曲の独創性だったり、高校生らしいエネルギー、ギンシュな演奏など。どういうところを審査されるのか、グランプリや入賞を目指すなら審査される側も勉強する必要があります。軽音協もよくおっしゃっていますが、高校生らしさ、元気の良さ、そして、個性。そういったところが審査の一番大きな基準だと思っています。それが数値化できないところが悔しいですけど。順位に不満があるのであれば、優勝したバンドを年代ごとに並べて全部見ろってことです（笑）。どういうバンドが優勝しているのかがよくわかります。

学校教育の中で果たす意義や顧問の役割、部活動での経験がどのように役立つのか…

部活動を考える

「教科学習」では得られない経験と成長

長野いつき

日本部活動学会理事兼事務局次長
音楽家

部活動は「学校教育の一環」としての活動であり、運動部や他の文化部と同じく、軽音楽部も例外ではありません。今回は、部活動が果たす意義や顧問の役割、部活動の経験がどのように役立つのかを日本部活動学会の長野いつき氏に伺いました。

●ご自身の部活動歴は…

長野…実は、学生時代は音楽系の部活動には所属していませんでした。中学校・高等学校の6年間は、水泳部員だったんです。中学校に吹奏楽部があり、入部を検討したのですが、「ちよつと思つていた吹奏楽部と違うかな…」という風に感じたので、違う部活動に所属していました。

●部活動の存在意義や役割とは…

長野…部活動は学校と密接に結ばれるものである以上、単なる「娯楽活動」ではなく、「学校教育の一環である」という考え方が大きいと思います。教科学習の延長…教科の学習の応用の場（活動）であるほか、経済的な観点も切り離せません。

「習いごと」として校外の教室等に通うことよりも無償、もしくは安価で参加できる取り組みとして部活動があるわけで、その点では「格差の是正」であったり、「機会の保証」という側面もあるのではないのでしょうか。また、「部活動だから気軽に始められる」という考え方もあると思いますし、基本的には学校の中で行われる活動なので、安心感もありますよね。

軽音楽部に目を転じてみると、単に音楽や楽器の演奏スキルだけではなく、例えば、シンセサイザーやディレイのエフェクターをはじめとする楽器や機材に触る場合は、物理や数学の知識があると理解できるのが速いですし、洋楽をコピーする場合は英語のスキルが必須ですし、当時の文化や歴史を深掘りしてみるのも面白いと思います。また、「教室で校内ライブをやろう！」という場合はチラシを作ったり、校内放送で呼びかけるなど、プロモーションやマーケティングのスキルも養えると思います。

このように、部活動は「総合的な学習

活動の一環」になりえますし、必ず「学習」という観点がどこかにあるのが、単なる趣味や余暇の楽しみとは一線を画していると思います。教育活動の一環としての側面を持つているからこそ、学校の中で行われ、活動を認められているのであり、そこから外れてしまうと、本末転倒になってしまうのではないのでしょうか。

●先生方に専門知識は必要でしょうか…

長野…どこからの部分を「専門知識」と定義するかは難しいところですが、それ以前の段階として、私は顧問の先生に必要なこととして、「安全管理責任」が挙げられると考えています。安全か、危険かの判断をすることができる能力です。例えば、水泳を例に挙げると、フラフープを使用して飛び込みの練習をするというのは、事故を誘発する可能性が高いので、何十年も前から、その危険性が指摘されています。

軽音楽で言うと、まずは楽器の適切な取り扱いがあります。「ケーブルが巻かれたままの状態では通電させてはいけない」

先生方は安全管理や衛生管理の視点があれば、他に望むものはないと思います。

学校生活と同じく、部活動は人と人の集まりなので、どうしてもうまくいかな場面が出てくるとあると思います。部員同士もトラブルや、その後のケアなどは、普段から生徒たちと関わっているのですから、先生たちの強みであり、本領を発揮できる場面です。いくら外部指導員に音楽や楽器の専門知識があったとしても、30人や40人を相手に教鞭を執るというのは、なかなかできることではないですし、具体的な解決への手立てを講じることも容易ではありません。そういつ

た部分の専門性は学校の先生の方がお持ちですので、特に人間関係に関するところは顧問の先生の出番だと思います。

●部活動を通じて得た経験は社会で役立つでしょうか…

長野…ありきたりな回答になってしまいかもしれないのですが、普通に学校生活を送っているだけでは、どうしても同年齢の集団としか接することができません。一方で、部活動に所属していると、多少なりとも異年齢の人たちと交流したり、ある目標に向かって、一緒に取り組むことになるので、普段の学校生活とは異なる

る視点から人間関係やコミュニケーション能力を高めることができると思います。校内ライブの話がありましたが、社会人になった際、抱えているプロジェクトや企画などに直接応用できるとは限らないですが、高校生のうちから部活動を通じて、学校の教科学習だけでは得られない思考力や判断力を身につけられるのではないのでしょうか。

●大会至上主義や行き過ぎた指導が問題になることがありますか…

長野…文化芸術である「音楽」ですので、容易に優劣が付けられるものではないのですが…、「今度の大会で入賞する!」といったことを目標に掲げて、練習に励むこと自体は否定しません。部活動に取り組む上でのモチベーションになったり、仲間と切磋琢磨する動機になるのであれば、大会を目標にするのは、むしろ良いことではないかと私は思います。

「大会の先にあるのは何か?」を考えた場合、例えば、運動部における大会は高校を卒業した後…大学生や社会人になっても活躍できる場が用意されていますが、高校時代に体を酷使してしまった結果、燃え尽きてしま

といった、使用上の安全管理です。他にも、ケーブルとスピーカー、ミキサーなどを配線する際の注意点や楽器を構えたり、持ち運ぶ際の姿勢が悪いと、腰椎や手首、肘を痛めてしまうかもしれないので、「楽器を正しく構えていますか?」「重い機材を一人で運んでいませんか?」。さらに、耳の健康を考えて「必要以上に音量を出していませんか?」といった点に気を配る必要があります。

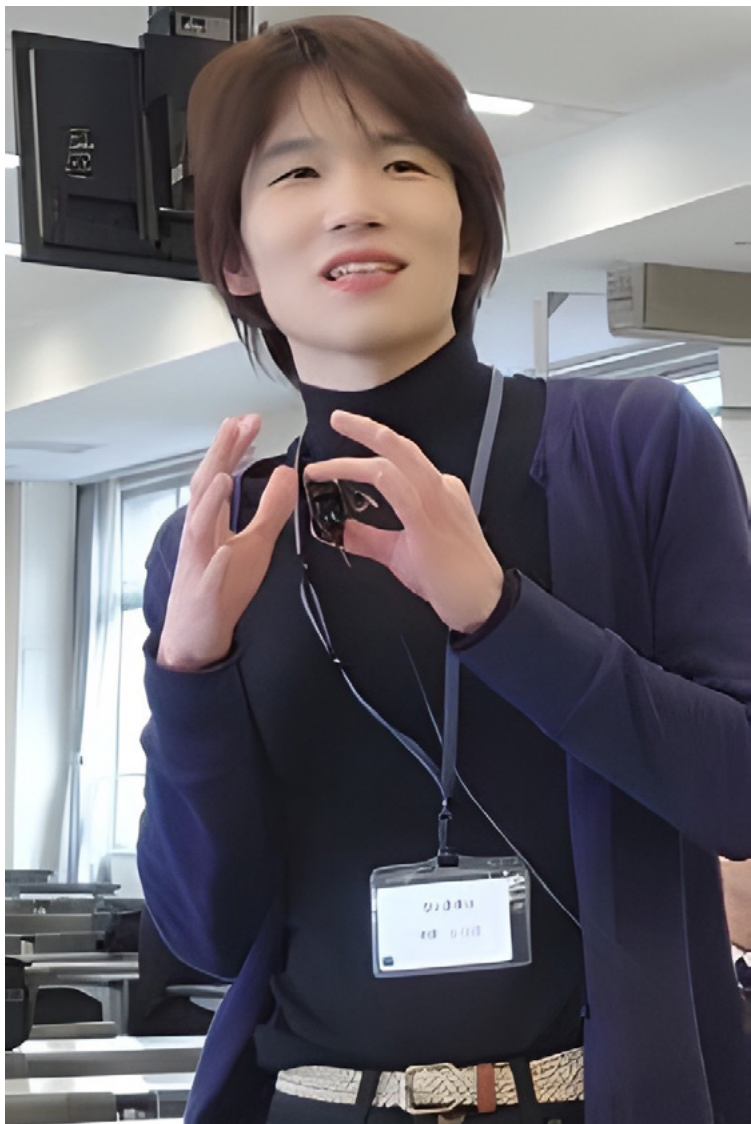
話を専門知識に戻すと、音楽や楽器に関する知識やノウハウが必要かと言うと、私は「あるに越したことはない」と思いますが、働き方改革や教員の負担軽減の観点から、教職員の先生方に専門的な知識を求めることはできません。では、どうしたら良いかと言うと、私は専門家の方々によるセミナーやレッスンに部員たちを参加させたり、イベントの開催情報をキャッチして部員たちに紹介したり、外部指導員を学校に招いたりするだけで十分だと思います。技術指導の部分は、そういった機会を大いに利用すれば良くて、顧問の

うのはもったいないですよ。また、ある大会で、仮にうまくいかなかったとしても、決して人生が終わるわけではないので、気持ちを切り替えて、先を見据えながら、別のことにエネルギーを注ぐことができると思います。いずれにせよ、大会やオーディションを最終目標にしないことが大切であり、部活動の最終目標（ゴール）に大会を据えるのは、少し違いますよね。

また、大会や発表会の様子は映像で記録するようにして、映像を見ながら振り返ったり、他者の演奏を批評したり、客観的に分析する力を養うのも大切なことだと思います。どうしても演奏した本人たちはやり切った気持ちでいっぱいなので、なかなか客観的に振り返ることができませんが、「映像」という形で振り返ることができれば、自己分析をしたり、他者を評価してみたいですね。ステージで演奏している感覚と、同じ演奏を客席で聴くのでは、大きな違いがあるので、そこを理解するのも大切です。

オリジナル曲に関して言うと、どうしても「足し算」しか考えることができないバンドが少なくありません。ここでも、やはり映像を見ながら自身の演奏を振り返ったり、他者はどうしているのかを分析したりして、どこかを引いて調整する…という考え方ができると良いですね。あれもこれも詰め込みすぎた結果、逆に表現意図が伝わらなくなってしまう場合が往々にしてあるので、ぜひ分析して欲しいと思います。

インタビュー・三谷佳之



優勝校顧問に聞く

音楽や楽器の演奏を通じて、「一生懸命に打ち込むからこそ得られるものを大切に活動

「百奏錬磨」で真摯に
取り組む軽音楽部

坂口和也

大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校
軽音楽部 顧問

●「第7回 高等学校軽音楽コンテスト近畿北陸大会」でのグランプリ受賞、おめでとうございます。受賞した大阪オトメは、どんなバンドですか？

坂口…大阪オトメは「百人一首」をモチーフに、日本ならではの情景や言葉の表現、美しさを伝える…ということをコンセプトに活動していたバンドです。大会で演奏した「いづみ川」をはじめ、すべてのオリジナル曲が百人一首をモチーフにしており、自分たちの解釈を歌とメロディに乗せて表現しています。メンバーは、この春で高校を卒業した3年生が3名と、2年生の後輩が1名という構成です。

●現任校への着任時期や軽音楽部の顧問歴は？

坂口…今年度で7年目を迎えます。平成30年に本校へ赴任したのですが、大学卒業後の初任校が本校です。赴任後、すぐに軽音楽部の顧問の1人になったので、教員歴も顧問歴も7年目に入りました。日々、部員たちと一緒に考え

時には悩みながら、部活動に取り組んでいます。

●部員数やバンド数、部費などは？

坂口…部員数は2年生と3年生を合わせて、21名です（取材時）。本校では特別な場合（オリジナル曲バンドなど）を除いて、固定のバンドを組んでおらず、大会やイベントに応じて、メンバーを編成しています。今は体験入部の時期で、軽音楽部の見学に来てくれた新入生に向けて、演奏を披露しているのですが、1日に2バンドずつ演奏するので、5日間で計10曲を演奏できるようにバンドを組んでいます。今日はチャットモンチーの「シャングリラ」と岩崎宏美の「タッチ」を演奏していました。

学校からの活動費は、ありがたいことに部活動の中で軽音楽部が一番いただいており、金額で言うと、年間で約10万円です。ただ、物価の値上がりもあり、消耗品やちょっとした備品を購入すると、すぐに使い切ってしまうため、部員から

も「月五百円（半年で三千円）」の部費を徴収しています。しかし、同様の理由から「半年で五千円に値上げをしないといけないかも」と、部員たちと相談しているところですよ。

●活動内容と年間を通した行事は？

坂口…本校では、毎週水曜日が「NOクラブデー」です。体育館のような共用部を利用してのクラブを除いて、水曜日は部活動がないので、軽音楽部も月・火・木・金曜日の放課後と、土曜日や日曜日は所属バンドに応じて、午前中に来たり、午後から来たりしています。基本的には、まず最初に全員が集まって、基礎練習…主に発声練習やリズム練習に取り組んでからバンド練習に励んでいます。

活動場所は普通教室を使用しています。80人くらいが入れる大きな教室を1部屋、20人弱くらいしか入ることができない小さな教室を2部屋、倉庫のようなところを1部屋…という感じで、計4か所です。同時に4バンドが練習できます。

年間の活動に関しては、今の時期は夏の大会に向けた練習やオリジナル曲の作成に取り組んでいます。5月の中間テストが終わると、夏の大会に向けた仕上げの期間に入り、7月～8月は様々な大会やイベントに参加したり、校内のオープンスクールで演奏させてもらうなど、とても充実した生活を送っています。

●貴校ならではのユニークな活動は？

坂口…本校は天王寺区にあるのですが、近隣の商業施設である「あべのハルカス」との共催で「計9日間くらいの演奏会「ハルカス高校文化祭」を実施しています。あべのハルカスに近鉄百貨店があるのですが、屋上スペースをお借りして、大阪府下の軽音楽部やダンス部をお呼びする形で、地域活性化イベントを行っています。

また、もう1人の顧問である吉村先生の指導の一環なのですが、「全員が弾き語りをする」というのもユニークだと思います。軽音楽部である以上、やっぱり全員が何か楽器を演奏できないと…という

ことで、弾き語りの部内発表会を定期的に開催しています。例えば、「何か演奏してみてよ!」とリクエストされた時に、さらっと弾き語りでワンコーラスを演奏できると、かつこ良いですし、周りの人たちにもわかりやすいですね。音楽的にも、弾き語りは「コードとメロディ」という関係を理解するのにピッタリですし、私が別の学校へ異動になった際も続けていきたい取り組みの1つです。

●部活動を運営する際の方針や目指しているものは？

坂口…軽音楽部ですので、もちろん音楽的な技術向上も目指しているのですが、根底にあるのは「自分たちの好きなことの追求」だと考えています。部員たちの場合は「音楽」や「楽器」です。1つのことに一生懸命に取り組む、時には大変なこともあります。それを乗り越えた先にある、やり遂げた気持ちや感動、演奏を聴いてくださった方からの温かい言葉など、一生懸命に打ち込むからこそ得られるもの（こと）を大切にしていきたいと思ひながら、顧問として部活動を運営しています。

●生徒指導の面で心がけていることは？

坂口…部員たちに話したことはないのですが、「自分に妥協しない」というのを心掛けています。「一生懸命に取り組もう!」という話をする以上、私も部員たちと真摯に向き合い、取り組んでいきたいと考えています。

実際に声をかける言葉としては「一生懸

命」というのはもちろん、「周りの人を大切にしよう」とか「遅刻をしない」といったことですね。遅刻をする人がいるとバンド練習にならないですし、それは一般社会や企業活動でも同じだと思います。遅刻が続くと、同じ仕事やプロジェクトに携わっている人たちが困りますし、連帯意識も薄くなります。結果として、それは周りの人を大切にしていないことになるんですよね。そういった音楽や楽器の演奏以外のこと…何かに取り組む際は「周りの人を大切にしよう」ということも部員たちに伝えていきたいと考えています。

●貴校の軽音楽部を言葉で表すと、どんな部活動ですか？

坂口…この質問をいただいた際に、部員たちに投げかけてみたんです（笑）。いろいろな言葉が出てきた中で、私自身も強く共感し、しつくりときたのが、「百奏錬磨」という造語です。数多くの実践によって鍛え抜かれる…たくさん経験して、己の人間性も武術も磨いていく「百戦錬磨」という四字熟語がありますが、「戦」を「奏」にアレンジしています。

軽音楽部のことに置き換えると、いろいろな音楽を演奏したり、様々な場所で開催する機会があって、伝えたい思いやメッセージがお客さんに届く時があれば、届かない時もあって、そういった経験を積む中で、自分たちの感性を磨いていく軽音楽部の姿がピッタリだと思い、本校の軽音楽部を表すものとして、とても良い言葉だと思いました。

インタビュー／文・三谷暢之



「他者の批評ができる力」を 持つことが成長のカギ

自分の良いところや改善すべきところを自分で判断できることも大事ですが、客観的な意見をもろうことや他者を批評する力を持つことも成長には欠かせません。部活動は、互いに演奏をチェックし合える絶好の環境です。部内で演奏を見せ合って批評し合ったり、大会などで他校や他県のバンドの演奏を見て研究する機会を作りましょう。

自分の良いところや改善すべきところを自分で判断できることも大事ですが、客観的な意見をもろうことや他者を批評する力を持つことも成長には欠かせません。部活動は、互いに演奏をチェックし合える絶好の環境です。部内で演奏を見せ合って批評し合ったり、大会などで他校や他県のバンドの演奏を見て研究する機会を作りましょう。

人の振り見て…

何かを体得していくためには「経験」が欠かせません。教科の学習も、できるだけ多くの「勉強」「試験」といった経験をしたりの方がその内容がよく身につきます。音楽や楽器演奏も同様に、大事なものは「練習」「本番」といった経験ですが、部活動で行っていることに割ける時間は限られています。そこで重要となってくるのが、思考を内側だけではなく外側にも向けて周りをよく観察することです。

野球選手でもアイドルでも、誰か憧れる人ができると、その人のようになりた

いと真似をし始めます。すべての習得は模倣から始まり、その探求への努力は苦

労とは感じないため吸収力はグンと高まります。インターネットが発達した現代、簡単に古今東西の無数の音楽に触れることができますが、言い方を変えれば無料動画サイトやサブスクが当たり前の情報過多な状況です。メニューの多い飲食店ののように、その中からお気に入りを探すのは簡単なことではありません。これぞ！という憧れの存在に出会えた人はラッキーともいえ、さらにその中から今風の言葉で「ハマる」「沼る」ほど夢中になれるアーティストやミュージシャンを見つけることは奇跡に近いかもしれません。

とはいえ、より多くの音楽や演奏に触れることは、見識を広める経験をする上でもとても大事なことです。温故知新、知見を得ることこそ、直接的な練習の他に

個人練習でもバンド練習でも、演奏している自分（あるいは自分たち）が本当は一番その良し悪しが見えていない場合もあります。自分たちの演奏を客観的に判断する最も簡単な方法は演奏を録音・録画してみることで、聴き返してもミスばかりが気になって的確な改善点や伸ばすべき良いところに気づけないことも多いものです。

また、個人練習の方法はインターネットで見つけることができるかもしれませんが、アンサンブルに関して、さらに言えば今ここで演奏した自分たちへの適切なアドバイスがもたらえることはありません。軽音楽部で客観的なチェックを行ってくれるのはコーチ（指導員）、あるいは学校によっては顧問の先生も良いアドバイザーになってくれるかもしれません。そういった指導者がいない学校ではクリニックや大会などに参加して外部の人から講評をもらうしかありません。しかし、そんな機会は稀です。

批評ポイントはテクニック以外

批評のためにチェックすべきことは、初心者バンドでも上級生のハイレベルバンドでも実はあまり変わりません。技術的な批評を無理にする必要はなく、バンド演奏に対しての向き合い方やアンサンブル上の役割をそれぞれのパートがきちんと行えているかがメインです。ちなみに、それは大会においても重要な審査ポイントとなります。

そして、部活動としての規範が守られ



ているかも大事なポイントです。演奏に臨む姿勢や態度、準備にかかる時間、セッティング、楽器

&機材の扱い方、挨拶、メンバー間の関係性：など、軽音楽部という部活動として、また集団行動

としての責任感や社会性についてチェックし合うだけでもその意味は十分にあります。全国の学校の中には、大会や演奏会などに出演するバンドの選抜を部員同士の批評会で決めているという学校もあります。部員同士の決定であれば、選抜に

遺恨も残りにくいのではないのでしょうか。それでも他者への批評などは言いづらい、気兼ねしてしまうとい

大会は大きな学びのチャンス

現在、様々な軽音楽部向けの大会が各地で開催されています。

大会は、練習の成果を発揮するため

の違いを比べてみたり、アドバイスを自分たちに置き換えて聞いて今後の参考にすることもできます。大会は、音楽的にも人間的にも大切な学びの場です。単なる優劣を競う場としてしまうのはもったいないことです。

初心者のうちは、他バンドの演奏を見たり聴いたりしても、テクニックばかりが気になってしまいかもしれませんが、

本当に見て欲しいのは、各々が持つテクニックをどのようにしてアンサンブルに活かしているかという部分です。バンド

というチームで演奏する時には「1人ではない」「ことのメリットとデメリットがあります。当たり前だと思われるかもしれ

ませんが、チームでの演奏やパフォーマンスは、メンバー同士で助け合い、お

ぎない合うことで「1+1=2」以上のものになります。しかし、その反面、複数人で合奏する難しさも同時にあってま

わります。そういった部分の比較・分析ができ、言葉として感想や批評を言えるようになることが目標です。

パートごとの批評ポイントの例

ボーカリスト

- ・発声や滑舌は良く、歌詞が聴きやすいか
- ・楽曲に合った強弱や抑揚か
- ・他のパートとリズムやテンポ感
- ・楽曲と合ったステージングや表情か
- ・歌詞の世界観をイメージできているか
- ・マイクの使い方
- ・ピッチ（音程）の安定

ギタリスト

- ・音量、音色は楽曲や演奏に対して適切か
- ・リズムはドラム、ベースと合っているか
- ・歌のバックিং時とソロ時などの切り替え
- ・他の楽器との音のマッチング
- ・チューニング
- ・スムーズな機材セッティングだったか
- ・ソロなどのステージングは考えられていたか

ベーシスト

- ・バンドに馴染むベースらしい音作りか
- ・ドラムとのグルーヴの相性
- ・ベースラインの作り方や理解
- ・コードの和音構成や調性の理解
- ・スムーズな機材セッティングだったか
- ・チューニング

ドラマー

- ・テンポの安定
- ・アレンジに合ったダイナミクスだったか
- ・楽曲に合ったグルーヴだったか
- ・楽曲に合ったサウンド（主にスネア）か
- ・リズムパターンとフィルインのバランス
- ・セッティングは迅速だったか

キーボーディスト

- ・バックングのリズムは良かったか
- ・ボーカルをよく聴いて感情表現していたか
- ・音量、音色は楽曲や演奏に対して適切か
- ・音色チェンジはスムーズか
- ・演奏のための事前「仕込み」は十分だったか
- ・スムーズな機材セッティングだったか

その他

- ・コーラス
- ・表現力
- ・演奏のし始めと終わり方

普段の練習とライブ本番とは、会場やステージの広さ、音響機材の仕様、共鳴、使用機材などの環境が違うため、演奏者にとってもいつもと同じような聴こえ方にはなりません。広いステージに慣れていれば予測して音作りを行っておくこともできますが、どちらにしても当日の

ん。リズムアンサンブルについても、バンド演奏を批評する上で着目すべきポイントです。

また、合奏でもステージングでも「一体感」がキーワードです。メンバー全員が一丸となつて世界を作り上げているかが重要です。一体感を出すには、

ん。演奏する楽曲の歌詞を全員が理解し、どう感情的にダイナミクスをつけて演奏しているのか、表現しようとしていることは伝わったか、見た目やパフォーマンスにも一体感があつたか、ボーカリストの表情や目線の位置、演奏中のアイコンタクト…などを含め、「全員」で演奏しているかがライブの最も大事なチェック項目です。

部活動で最も大事なものは チャレンジすることとそのプロセスです。大会やコンテストは貴重な経験の場となります。機会があれば結果を恐れずどんどんエントリーして欲しいと思います。また、自分は出場しなくても、先輩や同級生、他校他県のパンドを見に可能な限り会場に足を運んでもらいたいです。百聞は一見に如かず。批評する力をつけるには、自分の目と耳

で体感することほど近道はありません。

軽音楽部は、まだマスコミに取り上げられることも少なく、大会の現状や出演する高校生の活躍や気持ちを知る機会は多くありません。当協会が主催する大会では、YouTubeで全バンドの演奏動画を閲覧することができま。録画は、会場の熱気そのままに……というわけにはいきませんが、学べることはたくさんあると思います。全体ミーティングで動画を全員で見、感想を言い合うといった会を開いても有効だと思います。

文・辻 伸介

[illegible]

ドラムとベースは「リズム隊」と呼ばれ合奏やグルーブの土台となりますが、バンドのグルーブはドラムとベースだけで作るものではありません。メンバーそれぞれが良いリズムで演奏できて、いることに加え、最終的にリズム隊によって作り出されているグルーブの土台の上に他のパートがどんなリズムで乗っているかがバンドの個性となります。各パートが自分のやることをしっかりと行いつつ、どこかで他のメンバーのことも常を感じていなければなりません。

審査員長が語る

軽音楽部の大会における審査項目を4回に渡って考察していきます。3回目の今回は「アンサンブル」についてです。アンサンブル（合奏）という言葉には、複数人で演奏を行う時の根幹となるものから、プロフェッショナルな職人技のようなものまで、様々な音楽的要素が含まれています。高校軽音楽部の大会において、審査員はどんな部分に着目しているのでしょうか。

ングだとすると、機械で打ち込んだ演奏は100点満点ということになります。初心者バンドはタイミンが大きなポイントとなるかもしれませんが、合奏とはタイミングが合っていることをスタートとしてどんな演奏を行うか……ということです。目指して欲しいのはキチキチとしたズレのない演奏ではなく、バンドとしての音楽的な表現です。

第一回目にお話した「音楽に評価をつけることの矛盾」に通ずることなのですが、大会において審査員がアンサンブルのどこを評価しているのかは、やはり曖昧だと言わざるを得ません。テキストにやっているという意味ではなく、ここをこういう基準で優劣をつけるという統一されたものはない、ということです。そんなことないでしょう…と思われるかもしれませんが、それは多分ほとんどの場合、合奏とはタイミングだと解釈されているからではないでしょうか。

もちろん、タイミングも合奏の大事な要素の1つですが、良い悪いや点数はそれだけでは決まりません。合奏＝タイミ

しかし、「良い合奏」「良い表現」の定義はありません。例えば、同じ楽曲を違うバンドが演奏しても、それぞれに違うそれぞれに素晴らしい合奏を聴かせてくれることもあります。どっちが良いかは個人の好みでしかありません。

ではやはり、曖昧な審査基準で、その場その場の審査員の感性に委ねるしかないのでしょうか。大事なことは、「正解は1つではないが、間違いはある」ということです。すなわち、良い合奏に近づくには間違った答えを削除していくという消去法が有効です。それは、結果として面白みのない四角四面なものになってしまう可能性もありますが、合奏に新し

さや個性は必要ありません。審査員は基本的に音楽の専門家ですから、音楽的に整っている演奏かどうかの判断は得意です。逆に、良くないと判断する部分もかなり共通しています。いわゆる「減点されない演奏」をすることが、良い合奏につながるということになります。

アンサンブルの評価は、「全員で作る気持ちが良いグルーヴ」「糸乱れぬ強弱やドラマチックな展開」「楽曲に合った音作り」などが大きな対象です。しかし、初心者が多い軽音楽部の大会で、審査員はプロのアーティストやミュージシャンのような完璧さを期待してはいません。「ここをこうしよう」とメンバー全員で意思が共有されていること、それを本番でどれだけ表現できているかを審査員は見えています。

技術力が高ければ、それだけ耳や目、頭に余裕ができるため、他のメンバーや合奏に意識を持つていくことができます。個人練習の量が良いアンサンブルへの近道とも言えますが、フレーズやタイミン

グが合っているだけではなく、歌詞や楽曲の世界観を表現するためチームとして力を発揮できていることが良い結果につながっています。

不思議なもので、メンバー同士の仲の良さは演奏に反映されます。バンドはクリエイティブなチーム活動なため人間関係のトラブルも多いものですが、小さな集団での人間関係の構築も部活動で経験して欲しいものの一つです。単に仲良しこよしではなく、適度なストイックさと向上心もバランス良く必要ですが、審査員はその辺りも如実に感じながら観ています。目指して欲しいのは、チーム一丸となった一体感のある演奏です。

文・辻伸介

小笠原学園
第3回 高等学校軽音楽コンテスト
 実行委員会 小笠原学園軽音楽部、三浦市立南高等学校軽音楽部、三浦市立南高等学校軽音楽部、三浦市立南高等学校軽音楽部、三浦市立南高等学校軽音楽部
 協賛 特定非営利活動法人東京都軽音楽部協会、公益財団法人東京都音楽振興会、公益財団法人東京都音楽振興会、公益財団法人東京都音楽振興会、公益財団法人東京都音楽振興会
 会場 小笠原学園、小笠原学園、小笠原学園、小笠原学園、小笠原学園、小笠原学園、小笠原学園、小笠原学園、小笠原学園、小笠原学園



YouTube

協会主催大会の演奏映像を見ることができます





ホーム 動画 再生リスト コミュニティ 検索

ホーム

ショート

登録チャンネル

マイページ >

チャンネル

履歴

お気に入り

再生リスト

作成した動画

よく見た動画

自分のアップロード

探索

音楽

ムービー&TV

ライブ

ゲーム

ニュース



UP's World

第4回 高等学校音楽コンテスト 関東大会

再生リストの映像を見る



Sat.

第7回 高等学校音楽コンテスト 近畿北陸大会

再生リストの映像を見る



Sat.

第9回 高等学校音楽コンテスト 中部大会

再生リストの映像を見る



Sat.

第14回 愛知高等学校音楽大会

再生リストの映像を見る



The Bee

第33回 高等学校音楽コンテスト 関西大会

再生リストの映像を見る



Sat.

第10回 高等学校音楽コンテスト 近畿北陸大会

再生リストの映像を見る



セブン-イレブン

第4回 高等学校音楽コンテスト 中部大会

再生リストの映像を見る



Sat.

第13回 愛知高等学校音楽大会

再生リストの映像を見る



Light N.

第12回 高等学校音楽コンテスト 近畿北陸大会

再生リストの映像を見る



Odd 1

第22回 高等学校音楽コンテスト 関東大会

再生リストの映像を見る



Sat.

第12回 高等学校音楽コンテスト 中部大会

再生リストの映像を見る



Letti

第7回 高等学校音楽コンテスト 中部大会

再生リストの映像を見る



Sat.

第1回 高等学校音楽コンテスト 関東大会

再生リストの映像を見る



Sat.

第4回 高等学校音楽コンテスト 近畿北陸大会

再生リストの映像を見る



Sat.

第4回 高等学校音楽コンテスト 中部大会

再生リストの映像を見る

アンサンブルが良くなる指導方法

③ バンド練習で大事にすべきこと

全6回に渡って、バンドアンサンブル指導のヒントを解説していきます。今回は、実際のバンド練習中に何をアドバイスしてあげれば良いかがテーマです。専門的な指導や技術指導をしなくても、アンサンブルの本質と部活動として学んで欲しいことは共通項も多いので、理解しておくことと指導の一助となると思います。

1 主役が活かされているか

ポピュラーミュージックでは「歌詞」に重要性があります。特に、日本では歌詞がありなくらい重要なものです。大袈裟に言えば、バンド練習中のアドバイスは、歌（ボーカル）がちゃんと聴こえているかを判断してあげるだけでも十分です。楽器演奏やバンドの経験がない方でも音楽を聴いたことがない人はいないと思うので、自分の感性で「楽器の音が大きくて歌がよく聴こえない」「滑舌が悪くて歌詞が聴き取れない」「演奏が歌詞と合っていない気がする」：と、客観的に指摘してあげてください。演奏中の本人たちは、全体のバランスや今出ているサウンドを自分で確認できないため、外から聴いた感想はとても有益なアドバイスとなります。

2 ちゃんと会議をしているか

前回、前々回と、「バンド練習は会議だ」とお話ししてきましたが、当然実際のバンド練習においても大きなチェックポイントです。これは、部活動の根幹である自主性と協調性の育成につながる大事な部分です。ちゃんと「会議」をしているかを気にしてみてください。

実際の会議と同じように、円滑な会議は参加者全員からたくさん意見が出て、雰囲気も前向き、提案↓検討↓結論がスムーズなことがベストです。自分の思っ

ていることを自由に発言でき、他者の意見に耳を貸し、多くの比較検討の中からより良い結論を導き出せるようなバンド練習をできていることが理想です。もちろん、メンバーの熱量によって温度差が出てしまうこともありますが、会話を重視して「もつと良くなるには」と、全員が責任感を持って臨んでいるかがアンサンブルの完成度に大きく関わっています。練習を「議事録」として録音／録画することも有効です。

3 ドラマチックさ

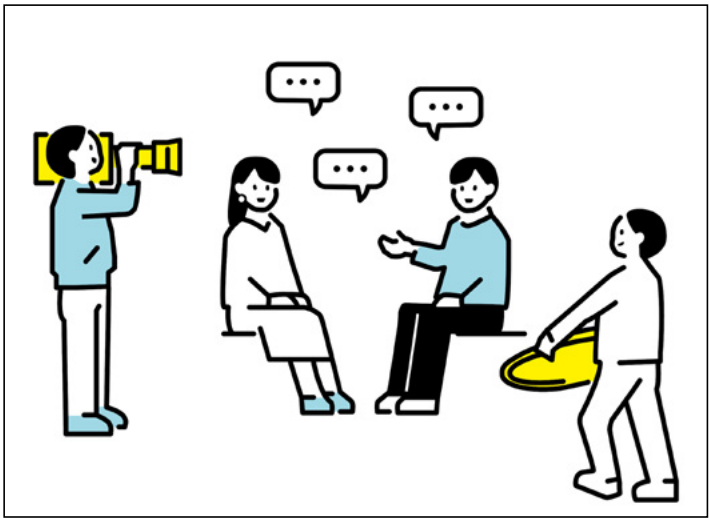
専門的な部分では、各フレーズの正確さや弾き方、リズムの取り方、感情の推移、和音の響き方、アーティキュレーションの加減、タイミング、音色の混ざり具合：といったことを細かくアドバイスしていくことが本来のアンサンブル指導なのですが、そういった具体的な指摘だけではなく、全体的にドラマチックかどうか、抽象的なアドバイスも有効です。

例えば、全体を通して音量の強弱が歌詞や各セクションの雰囲気と合っているかといったダイナミクスについてです。

単純に数値で考えて、無音が0、最大音量が10だとして、イントロは6、1コーラス目のAメロは3、サビは7：など、メンバー全員が音量推移のイメージを把握して実践できていること、また、やってみて、こう変えた方が良いんじゃないかと話し合えていることが理想です。

「サビを8にしてみたら」などの具体案を示す必要はありません。答えを自分たちで探らせることが大事なので、「なんかグツとこない」「もつと良くなるんじゃないか」といった意見で十分です。メンバー同士で協議・協力することが、チームとしても個人としても音楽的、人間的なレベルアップにつながります。

文・辻 伸介



音楽Ⅱ遊びというイメージがあるが、実は理想的な育成ツールだった！

軽音楽部を通した人材育成の取り組み

今回は、軽音楽部が次世代の教育に相応しい理由を「軽音楽部の過去と現在における活動内容の違い」に焦点を当てて解説した。今回は、さらに一歩踏み込み、具体的な活動事例を解説していく。

アクティブラーニング

現代社会において、「自ら考え、行動し、課題を解決すること」ができる人材は、どの組織でも必要とされているはずである。我が国においては義務教育から「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」など、社会全体で「考え方」を変える時が来た。それは、いわゆる「アクティブラーニング」であり、授業だけではなく補完できない部分を「部活動」が担っていると確信している。軽音楽部における活動は、まさにアクティブラーニングなのである。具体的な活動から紐解いていこう。

●自己研鑽期を経て、バンド活動へ

担当する楽器の知識や技術を学び、仲間と共にバンドで音を合わせる…。そして、学園祭や合同演奏会などで成果を発表する。ここまでは、何ら他の部活動と

変わらない。しかし、ここから先が軽音楽部の真骨頂なのである。

●何を目標とするか

上記ができた段階で、ようやくスタート地点に立てたのである。特筆すべきは「目標は自分たちで決められる」という点だ。ここから先の目標は多岐にわたっており、何を選択するかによって活動内容や行動がまったく違ったものになってくる。具体的には、

- ① 大会で良い成績を残したい
- ② 聴いている人たちが感動するようなオリジナル曲を作りたい
- ③ 合同演奏会で、仲間をたくさん増やしたい
- ④ 最強のコピーバンドになりたい
- ⑤ 部活動を盛り上げたい
- ⑥ 今の状態が楽しいから、このまま自分のペースで楽しく活動したい

どれも正解ということはないし、組み合わせられている場合もあるだろう。例えば、③からスタートした結果、他校のバンドが演奏している曲に触発されて、自

分たちもオリジナル曲を作るようになり、最終的に大会に出場して、良い結果を残す：ということも十分にあり得る。大切なことは、軽音楽部における目標設定は無数に存在しているという点である。上手に演奏ができて、それをステージで発表して終了：というだけでは、軽音楽部の一番おいしいところを逃していると言っても過言ではない。

●目標を達成するには

先述の中で、⑥は現状維持の目標だが、それ以外は「成長」が必要である。しかも、個人の成長はもとより、バンドや部活動全体という「チーム」の成長が不可欠と言える。そのためにはどうすべきかと言うと、メンバーや部活動全体で考えることと、実際に行動することが必須なのだ。

例えば、①を目標にした場合、どのような大会があるのか（本誌にも大会情報を掲載）、そのためには何が必要なのか。オリジナル曲が必須なのであれば、どんな曲を作るのか、どのように作るのかなど、バンドメンバーと共に、時にはぶつかり合いながら、一歩ずつ進んでいくことになる。まさに「チームワーク」「コミュニケーション」「クリエイティビティ」が発揮される瞬間である。そして、それを披露するのであれば、「エンターテイメント」の観点がなくては、良い結果が得られない。目標を設定し、そこに向かっていくことで、実践的な学びを体験することが可能なのだ。

●他者からのアドバイス

ここで陥りやすいのは、目標に向かい

つつ「自分たちだけで満足してしまう」ということである。そうならないためにも、他者からのアドバイスは金言となる。幸いにも、現代の軽音楽部には、アドバイスを受ける機会が至るところに存在している。これも「それに気づけるかどうか」がポイントになる。当協会主催の合同演奏会や「軽音楽ぶせミナー」「軽音協プレミアムセミナー」などはアドバイスの宝庫である。他校の軽音楽部顧問や音楽専門学校講師から改善に必要な「材料」を得ることができ、アドバイスを元に楽曲やバンドをブラッシュアップし、目標に近づけていく。仕事に置き換えれば「PDCAサイクルの「C (Check)」と「A (Action)」をこれらの機会を通して身につけていくことが可能となる。

エンターテインメント

軽音楽部において、最終的に待っているのは「聴いている人に感動を届けられたか？」という点であり、軽音楽部の大会は、ここが他の部活動と大きく異なるところと言える。つまり、エンターテイメント：どれだけ目の前の相手を満足させることができたかが、大きな成果となるのである。仕事においても、それは大切な部分であり、そのために仕事をしていると言っても過言ではない。軽音楽部の日々の活動は、そのまま実社会に直結しているという一番の理由である。そう考えると、ある意味では、私たち大人も永遠に軽音楽部員のままなのかもしれない…。

文・鈴木雅宏

配布校リスト

全国の高等学校 2,040 校の軽音楽系部活動の顧問あてに無料配布しています

現在の配布校リストは右のQRコードからご覧いただけます



投稿記事募集

月刊軽音楽部では、部活動や軽音楽部に関する事例発表、問題提起、意見や持論、研究論文からイベントレポートなど、「部活動としての軽音楽部」の運営に携わる顧問の先生方の集合知のハブとして、投稿記事を広く募集し、誌面に反映させていきます。構想だけで文章の形になっていないとか、複数の文章はあるが全体として整理できていない場合、過去に発表した内容をブラッシュアップしたい場合、編集部がいろいろな側面でお手伝いすることもできますので、何かありましたら、お気軽にご相談ください。

投稿記事に関するお問い合わせは下記まで
Email info@keionkyo.org
TEL 045-913-0901

次号予告

※表紙はサンプルです

次号は
6月25日(火)発行



約3分で終わるアンケートにご協力ください



▲アンケートフォーム
https://forms.gle/HmWrzncPMdamJP37

バンド練習から校内ライブまで使える音響&照明機材



バンド練習やライブを行うのに欠かせない音響や照明機材。練習環境や発表場所に適した機材を揃えることをお勧めします。

ライブ本番までに済ませておきたい3つの準備



ライブは泣いても笑っても一発勝負。悔いのないステージを万全の体制で迎えるために、しっかりとした準備をして本番に臨もう！

右のQRコードから記事を読むことができます



編集後記

三谷佳之
全国学校軽音楽部協会 理事長
新しいことに挑戦する際、最初からうまくいくことはほぼない。小さな失敗を経験する。それを何度も繰り返す。失敗を恐れて途中でやめてしまうのは、それほど好きじゃなかったことだ…と、小さい子が自転車の練習をする姿を思い出す。何度転けても、また乗る。…で、そのうちに乗れるようになる。小さな子供から学ぶことは多い。

辻 伸介
全国学校軽音楽部協会 副理事長
ドラマ、音楽専門学校学科長
今月は五月晴れを乗り越してもう夏か!という感じの日が多かったですね。とはいえ、まだ30℃前後ですから夏本番はもっと暑いでしょう…。近頃は何かパワー不足で、夏バテか?五月病か?と新入社員でもないのに季節のせいにしています(笑)。すでに熱中症になられた方もいるそうで、皆さま体調管理にご自愛くださいませ。

三谷暢之
全国学校軽音楽部協会/事務局長
休日に天気の良い日が多く、週の半ばは雨が多い…というニュースを見たのですが、そのとおりですね…!この原稿を書いている今日(水曜)も曇りですが(笑)、過ごしやすい気温なので、嬉しいです。7月末から京都→愛知→石川→富山→東京…と「夏の軽音ツアー」が始まりますが、各地の気候はどうでしょう!?

鈴木雅宏
湘南ミュージックハイスクール 広報担当、ギタリスト
先日、本校学長が90歳の誕生日を迎えられた。何を隠そう…超元気の90歳。姿勢は私より良い上に声も大きく、未だに頭はキレッキレ。指揮者としての仕事もこなす。究極は…飲みに行くところまでシャンパン1本空けてしまう程の酒豪。酒は「百薬の長」を地で行ってる姿に、襟を正す今日この頃なのでした。

高等学校軽音楽コンテスト

日頃の練習の目標となり、県を越えて、他校の演奏スキルやマナーを学べる大会

第8回 近畿北陸大会 7/31 (水) 会場: 舞鶴市総合文化会館 大ホール
第15回 愛知県大会 8/2 (金) 会場: 愛三文化会館 もちのきホール
第10回 中部大会 8/3 (土) 会場: 愛三文化会館 もちのきホール
第5回 関東大会 8/25 (日) 会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホール



第1回 高等学校軽音楽文化祭国際大会 8/22 (木) 会場: 舞鶴市総合文化会館大ホール (京都府)

KEIONGAKUBUSEMINAR

軽音学がセミナー

楽器の基礎知識から演奏スキルまでパート別に体系的に学ぶことができる講習会



7/21 (日) 会場: 昭和音楽大学【GarageBandセミナー】
8/5 (月) 会場: 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校【GarageBandセミナー】

軽音協プレミアムセミナー

特定分野の知識や実践を専門家から深く学んだり、体験することができる講習会

初歩からきちんと学べるPA講座



音響塾

6/1 (土) 会場: 宝塚大学 東京メディア芸術学部
7/30 (火) 会場: 舞鶴市総合文化会館大ホール (京都府)
8/21 (水) 会場: 舞鶴市総合文化会館大ホール (京都府)
8/24 (土) 会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホール

初歩からきちんと学べるドラム講座



ドラム塾

6/22 (土) 会場: 宝塚大学 東京メディア芸術学部

KEIONGODOENSOUKAI

軽音合同演奏会

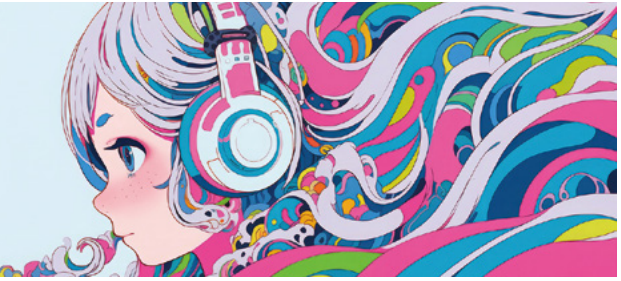
日頃の練習の成果を披露し合い、他校の演奏に刺激を受けることができる演奏会



7/14 (日) 会場: 舞鶴赤れんがパーク (京都府)
8/17 (土) ~20 (火) 会場: 林西寺 (石川県白山市)

第2回 全国高等学校軽音楽部
オリジナルソング・グランプリ

高校生のクリエイティビティや感性を活かしたオリジナル楽曲の素晴らしさを讃える発表の場



募集開始 5/下旬
応募締切 8/31 (土)



Pop & Rock Music, Jazz

昭和音楽大学 | 昭和音楽大学短期大学部 ポップ&ロックミュージックコース / ジャズコース

Event Information 2024

オープンキャンパス

昭和音大を体感してみよう!

6/9 Sun 7/7 Sun 8/4 Sun 他

参加無料
要事前予約

対面

受験講習会

個人レッスンで
プロの技を身につけよう!

6/23 Sun 8/31 Sat 9/21 Sat 10/26 Sat 他

●実技個人レッスン ●ポピュラー音楽理論 他

対面

オンライン

アンサンブルセミナー

本学教員がアドバイス!! ジャムセッションを楽しもう。

個人またはバンド
単位で参加可能 6/23 Sun 9/21 Sat

参加無料
要事前予約

対面

夏期講習会

受験生受講率No.1!!
夏休みにレベルアップ

8/2 Fri ~ 5 Mon
●実技個人レッスン
●ポピュラー音楽理論 ●DTM講座 他

対面

オンライン

▶5月現在の情報です。日程や内容は変更となる場合がありますので、詳細や最新情報はウェブサイトをご覧ください。◀



お申込・
詳細は
ウェブで!

お問い合わせ / 入試広報室

0120-86-6606

nyushi@tosei-showa-music.ac.jp

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1



Pathways 受験対策スクール“パスウェイズ”
無料体験レッスン中!

音大受験生に対し、本学の講師陣が継続的に個人レッスンを行います。
オンラインも可能です。【対象：高校生(既卒者含む)、中学生】



★タイガー大越客員教授は年に数回、特別レッスンを行う予定です。

教員紹介

(2024年5月現在)



楽器本体から弦などの消耗品、譜面台、PA機器、各種ケーブル類まで8万点以上を取扱い中

軽音楽部を応援する

サウンドハウス

※2,000円以上の注文にて
送料無料

最短即日発送

長期3年保証

cp
Classic Pro

サウンドハウスがプロデュースする音響機器ブランド。
驚異的な価格を実現し、真摯に「機能」「操作性」「音」を
追求した商品をラインナップ。



ステージ照明

STAGE EVOLUTION
LIGHTING EQUIPMENT SPECIALIST
COB PAR
¥11,800

30W RGBW COB LEDを搭載、
音に反応するサウンドアクティブや
DMXによるコントロールに対応



MINI PAR RGBW
¥3,980

8W RGBW LEDを4個搭載した
LEDバーライト、DMXに対応

MUSHROOM LED
¥6,780

カラフルなビームを出力する
マルチカラーエフェクト

TBAR 12 RGBW ¥21,800
一本のバーに2W RGBW LED×3を4個搭載したLEDバーライト
システム。付属の赤外線リモコンでコントロールできます

スタンド別売
K&M 24630
¥18,000 ▶

EZ LIGHT4
¥59,800
4台のLEDバーライトを一本のバーに取り
付けて使用するバーライトシステム



MINI PAR COB
¥3,980

12W RGB COB LEDを1個搭載した
LEDバーライト、DMXにも対応

TWINKLE BALL
¥3,580

ステージの中央に設置し、ミラー
ボールのような照明効果

COLOR STRIP 12
¥17,800

12個の4W RGBW LEDを搭載した
バータイプのLEDウォッシャー。
床置きや天井吊りに対応

WALL WASHER II
¥14,800

10mm LEDを240個搭載した
ウォッシャー。壁面の色染や室内
の照明演出などに最適

ギター弦/ベース弦



Super Slinky ¥780 1,000種類以上をラインナップ

ドラムヘッド/シンバル



国内外メーカーの定番から新商品まで取り扱い中!



サウンドハウス

営業時間：平日
10:00~17:00
休業日：土日祝日

成田店 TEL 0476-89-1111
徳島店 TEL 0885-38-1111

FAX 0476-89-2222
FAX 0885-38-1100

※上記番号へ繋がりにくい場合はコチラの番号へおかけください ▶ナビダイヤル ☎ 0570-028888

原則として商品到着から14日以内の返品・交換を承ります。ご不明な点は事前にお問い合わせの上、ご注文ください。
掲載価格は2024年5月現在の税込価格です。最新の価格、返品等についての詳細はWEBサイトにて確認下さい。

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3 www.soundhouse.co.jp



5/26(日)
6/2(日) 9(日) 16(日) 23(日)
7/7(日) 14(日) 21(日) 27(土) 28(日)
以降随時開催



Startline
84.7MHz
startline847.com

FMヨコハマ
「Startline」
毎週土曜20:30~0.A.
(パーソナリティ)
坂詰美紗子(本校卒業生)
中村豪(やるせなす)

RECORDING
ENGINEER

ACOUSTIC MEDIA DEPT.

CONCERT
STAFF

CONCERT EVENT DEPT.

2025年度 八王子校に
ダンスパフォーマンス科新設!

It all begins here!

DANCER

DANCE PERFORMANCE DEPT.

MUSICIAN

VOCALIST

MUSIC ARTIST DEPT.

コンサート・イベント科 職業実践専門課程

- コンサート制作コース ●コンサートPAコース
- コンサート照明コース ●コンサート舞台コース
- イベント企画コース

ミュージックアーティスト科 職業実践専門課程

- サウンドクリエイターコース ●ヴォーカリストコース
- プレイヤーコース

音響芸術科 職業実践専門課程

- レコーディングエンジニア専攻 ●MAエンジニア専攻
- ラジオスタッフ専攻

ダンスパフォーマンス科 職業実践専門課程(旧田校のみ)

- プロダンサー専攻 ●バックダンサー専攻
- ダンス&ヴォーカル専攻 ●コレオグラファー(振付)専攻
- ダンスインストラクター専攻 ●テーマパークダンサー専攻

※2025年度 八王子校新設

日本工学院 ミュージックカレッジ
日本工学院専門学校 日本工学院八王子専門学校



☎0120-123-351 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎0120-444-700 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1

<https://www.neec.ac.jp/>

@nihonkougakuin

@neec_official

@nihonkogakuin

ライブPA

「やってみる！」という
気持ちが大切です

日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校

ーライブPAの仕事について教えてください

小峰：大型音楽フェスティバルや単独公演など、ライブのスタイルや規模によってさまざまな場合がありますが、一般的には出演するアーティスト、またはバンドメンバーとの打ち合わせや会場の下見などからライブPAの仕事が始まります。

その後、演奏する曲やバンド構成などの事前情報を基に、使用するマイクの種類やスピーカーの数を検討し、「音響プラン」を作成します。ライブ当日は道具や特殊効果、照明や電飾など、他のセクションの方々と一緒に作業をするため、全体のタイムテーブル(タイムスケジュール)に沿って、安全第一を意識しながらPA機材を仕込みます。

機材の仕込み作業が落ち着いたら、バンドメンバーと一緒に楽器や声といった音の調整となるサウンドチェックやリハーサルなどを行い、聴きやすく、かつライブ感(迫力など)がある音に整え、ライブサウンドを作り上げます。

ライブ終了後は機材の撤収です。マイクやスピーカー、スタンド類を片付けて、トラックへ積み込み、次の公演に備えます。

ーライブPAに携わりたいと考えた場合、入学前に、ある程度の知識が必要ですか。高校時代にやっておいた方が良かったら、教えてください

小峰：放送部や吹奏楽部、軽音楽部など、顧問の先生や先輩から教わった知識を活かすことも可能です。しかし、入学前に知識や経験がなくても、日本工学院では「0(ゼロ)」の状態からしっかりと学ぶことができるので、安心してください。

強いて言うとなると、入学前までに、たくさんのライブを見て欲しいですね。最近では、インターネット動画配信でも見るができます

が、可能であれば生のライブを見て、楽しんで欲しいと思います。また、ライブのみならず、ミュージカルや映画、絵画や小説など、さまざまな芸術作品にも触れて欲しいですね。

そこには、作者が伝えたいメッセージや作者の感情があります。それを自分なりに受け取って、お客様の視点のみならず、制作者(スタッフ)からの視点でも感じてみてください。その感覚と経験から「自分の感性」をこれから先もずっと磨いていって欲しいと思います。

ーライブPAの仕事の楽しいところや、やりがいを感じる瞬間を教えてください

小峰：「音」は目に見えないので、整えたライブサウンドをバンドメンバーと共感でき、心が通じ合えた瞬間は嬉しいものです。そして、何よりもライブ会場に来ていただいたお客様が思いつき楽しんでいる、そんな幸せな時間を共有できた時などにやりがいを感じます。

一方で、これは私の感想になりますが、この仕事がとても楽しいので、大変に感じる時はありません。ひと昔前までは、かなり重い機材が数多くありましたが、最近は軽量化が進み、運搬なども楽になりました。

ーライブPAの仕事は、どんな人におすすめですか？

小峰：いろいろな人におすすめしたい仕事ですが、コンサートやライブが好きな人。機材を組み上げたり、ケーブルをつなぐなど、機材に触れるのが好きな人が向いていると思います。また、1つの物事に没頭しやすい人。アーティストや周りのスタッフとのコミュニケーションが欠かせず、連携が大切になるので、「人のことが好きな人」におすすめです。

また、音楽産業の中でも「コンサート・イベ

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、どんな世界なのでしょう。今回はライブPAの仕事について、日本工学院専門学校／ミュージックカレッジ コンサート・イベント科の小峰先生に伺いました。

ント産業(ライブ市場)」は、とても勢いのある産業の1つです。日本人アーティストのほか、K-POPをはじめ、海外アーティストの来日公演やドームクラスのコンサートも増えてきています。最近では、2.5次元ミュージカルやイマージブ(没入型)イベントなど、新しいスタイルのイベントも数多く開催されています。音響機材も日々新しくなり、今でも自己研鑽を積んでいます。難しさや大変さよりも、新しいことへの「ワクワク」の気持ちが大きいです。そんな方におすすめな仕事だと思います。

ーライブPAの仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか。3つほど教えてください

小峰：1つ目は、どんなことにも興味を持って、「やってみる！」と思う気持ちです。

2つ目は、ライブPAというのは、自分だけではできない仕事です。お客様や周りのスタッフからお仕事をいただいている「おかげさま」の気持ちが大切だと思います。

3つ目は、「日々感謝」の気持ちです。これはライブPAの仕事に限ったことではないと思いますが、周りの人たちに感謝をしながら、円滑なコミュニケーションで仕事に従事することで、その仕事のことをますます好きになり、結果的に仕事を長く続けることができると思います。こういった気持ちで日々を過ごして欲しいですね。



▲PAスタッフと連携して、スピーカーを組み上げています

エンタメ&クリエイティブの専門学校



VISUAL ARTS

東京 / 名古屋 / 大阪 / 福岡

ビジュアルアーツ・アカデミー

ACADEMY

Akademeia 21st Century



ミュージシャン
声優・俳優・タレント
ダンス・ダンスボーカル
ネットタレント・インフルエンサー
映像クリエイター (3DCG・VFX)
テレビ放送・映画スタッフ
コンサート・舞台スタッフ
レコーディングエンジニア
サウンドクリエイター
映像音響 (MAエンジニア)
写真・デザイン
マスコミ出版
芸能マネージャー
特殊メイク

※地区によって教育分野が異なります

大学も専門学校も超える新たな学びの場



21世紀アカデメイア
Akademeia 21st Century

専門学校 東京ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 専門学校 東京ビジュアルアーツより校名変更)

専門学校 大阪ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 ビジュアルアーツ専門学校より校名変更)

専門学校 名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 名古屋ビジュアルアーツより校名変更)

専門学校 福岡ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 専門学校 九州ビジュアルアーツより校名変更)



観客の反応を肌で 感じられる仕事です

音楽やエンターテインメントに関する職業や業界は多岐に渡りますが、どんな世界なのでしょう。今回は照明にまつわる仕事について、専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー／音響学科 照明コースの野田先生に伺いました。

ー 照明にまつわる仕事全般について教えてください

野田：照明の仕事はコンサートやイベントをはじめ、演劇やテレビなど、様々な演目に携わることになります。具体的には、それぞれの現場に相応しい灯体や機材を選ぶところから始まり、現場で色味や動きをプログラミングし、本番では曲のキックや事前に決められたタイミングに合わせてスイッチを押して、明かりをコントロールする…という仕事です。

本校に入学する学生の大半はコンサートやライブを見て、照明に興味を持った…という人が多いのですが、その他にも、単純にお芝居を見たり、音楽を聴くのが好きで、そういった中で「自分も裏方として、この業界の仕事に携わりたい」という動機で進学を希望する学生もたくさんいます。

ー 入学前に、ある程度の知識は必要ですか？高校時代にやっておいた方がよいことも教えてください

野田：特に「入学前に、これをした方がよいです」というものはないのですが、実際に仕事をしていく中で電流や電圧といった「電気」の知識が必要になるので、それらの簡単な復習ができるとういことです。また、機材の重量や積載量を計算する場面も多々あるので、数学の知識も今のうちから蓄えておけると、将来も役立てることができると思います。

仕事になると、好き／嫌いにかかわらず、いろいろな分野の照明に携わったり、様々なジャンルの音楽を聴いたり、お芝居を見たり…ということが多くなるので、学生のうちからライブ映像やミュージックビデオを見たり、音楽番組を視聴するなど、いろいろな映像作品を見て、その中で「カッコいいな…」と思った照明や演

出のメモを取り、自分の知識としておくのは高校生のうちからできて、実際に照明の仕事に携わることになってからも生かしていけることではないでしょうか。

なお、楽器を演奏できたり、譜面が読めるといのは、できるに越したことはないですが、必須ではありません。照明のプランを考える際に、いわゆる「譜割」といって、Aメロが何小節で、Bメロが何小節で…という数え方をするので、そういう場面では軽音楽部や吹奏楽部出身の人は入り込みやすいのではないのでしょうか。コンサート系の照明に携わるのであれば、そのスキルは重宝すると思います。一方、演劇系の照明はまったく異なり、「決められたキックを逃さずに反応する」という反射神経に通じる部分の方が重要なので、楽譜を読めたり、楽器を演奏できるというのは、そこまで重要なポイントではないと考えています。

ー この仕事の楽しいところを教えてください

野田：照明の効果は目に見えてわかるものなので、出演者や観客の反応を身近に感じられるところが楽しい部分だと思います。実際に演者の方から「この曲の、あの照明がかっこ良かった!」と言っていたり、コロナ禍以前のことになりますが、コンサートの現場でも会場が暗転し、「おお〜!」という大歓声を聞くことができるなど、照明に対するレスポンスを肌で感じられるのが醍醐味です。そのキックを照明担当である自分が握っているの、責任重大なのですが、やりがいを感じられるシーンの1つだと思います。

ー この仕事の大変なところを教えてください

野田：どうしても、本番前日は夜遅くまでの作

業になりがちなので、大変な部分の1つです。加えて、野外でのコンサートの場合は空が暗くならないと照明が映えないので、必然的に夜間の仕事になります。また、照明の仕事は大きな機材を運んだり、重たい灯体を取り付ける場面も多々あるので、体力に自信のない人は大変に感じてしまうかもしれません。

ー この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか。3つほど教えてください

野田：一番大切なことは、コンサートやイベントなどを「好きでいること」だと思います。好きだからこそ、頑張ろう!と思えますし、夜遅くの作業になってしまっても、かっこ良くしよう!という思いがあるなど、気持ちの部分が高まれば、乗り越えられると思います。

2つ目は、たくさんの人たちと協力して、1つのものを作り上げることができる「協調性」。

3つ目は、新しい機材や技術が次々と登場したり、便利な環境が整ってきている中で、常に新しいことに挑戦し、学ぼうとする「チャレンジ精神」です。照明の仕事は学校で教わることに以上、現場で学ぶことが多いので、どんなことでも勉強するぞ!という気持ちで取り組める姿勢が大切だと思います。



▲ミュージシャンを交えたホールでのライブ実習の様子